

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス てとととPlus				公表日	令和8年 3月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			視覚的な支援が少ないのでどのようなお部屋なのかわかるよう配慮を行ってきたいと思う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		活動では、個別や小集団で行っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		視覚的にわかりやすく、常に職員が確認できる構図になっている。 荷物置き場などは、マグネットに書いてある名前を確認できるようにしている。	活動部屋はバリアフリー化がされているが、玄関入口のバリアフリー化は課題である	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		児童が帰った後、毎日掃除を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		パーティションを利用し、個別対応できるようにしたり、環境を分けて使えるようにしたりしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		定期的に職員会議をして情報共有や意見交換を行い、業務改善につなげている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5	未実施	第三者機関を検討中。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		定期的にHUG研修や市の研修に参加している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		支援プログラムをホームページで公開している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		モニタリングで保護者と話し、ニーズを明確にして児童発達支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		支援会議をして、多方面からの情報吸収・共有を行いながら児童発達支援計画につなげている。	生活上で困っていることに対して、全職員が継続的に対応できるよう確認をしていきたい。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		支援会議で情報共有を行い、サービス提供記録で目標の評価を日々行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		チームで話し合い、活動目的・流れを全体で共有している。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	学習活動・運動活動等活動が偏らないようにしたり、活動を通して能力向上できるような流れでプログラムを工夫したりして設定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	朝礼やミーティングでその日の流れを確認し、支援がスムーズにできるようにしている。	詳細に確認できていない部分もあるため、情報共有に漏れないように、業務連絡体制等を見直すことも行っていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	送迎時や保護者対応時の様子なども共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	毎日利用者のサービス提供記録を作成し、保護者に公開をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	保育園・幼稚園、小学校や連携機関、保護者と情報共有を行い、必要に応じて訪問等を実施している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	必要に応じて報告書を作成し、情報共有を行う機関に提出をしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	報告書を作成し、情報共有を行っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	実施できていない。	今後、地域の連絡部会等に参加し、連携を図ってきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	同事業所との関わり交流する機会があるが外部との関わりがあまりない。	地域の中での関わりを行ってきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	サービス提供記録で療育の様子や課題の共有を行ったり、HUGの保護者メッセージや送迎時に話をしたりして伝えあっている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	個別面談時等で声掛けの内容や関わり方、方法をお伝えしている。	ご家族様を対象とした研修等の機会が図れていないので工夫していきたい。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	契約時に実施している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	保護者との面談も行き、意見を尊重した支援計画を作成している。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		確認をしてもらい、保護者にサインをいただいている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		HUGの保護者メッセージで対応をしたり、必要に応じて個別で面談を設けたりしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	1	兄弟を含めたイベントはあるが保護者同士での交流の場は設けられていない。	保護者様のご意見を考慮し、検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		訪問や面談など日時を調整して丁寧に対応を行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		HUGやインスタ・ホームページなどのSNSを活用しているいろいろな人に興味を持ってもらえるよう発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		インスタやホームページでは、保護者に確認をしてから顔出し等をしたり、プライバシー保護をしっかり守って運用している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1	小学校のPTA祭に参加をした。	今後も事業の事を知ってもらうために積極的に活動を行っていく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		定期的に避難訓練をしている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		モニタリングや支援会議を通して情報共有を行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		ヒヤリハット報告書を作成し、再度確認をしたり、改善案を考えたりしている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		定期的に研修を受けることで対応する力や知識を身に付けている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	1		研修は受けているが、実際に行ったことがなく事例がないため、ロールプレイングを取り入れて体験してみる。	